

### 【取組み内容】

### SDGsをキーワードとした枠を超えた学びのネットワークの構築

ESDを推進し、世代や枠を超えて連携できる緩やかなネットワークを構築して、SDGs達成を目指す。

- ① 様々な教育の現場におけるESDやSDGs教育の推進
- ② 熊本地震や水害等の被災地支援と、コロナ禍の子ども食堂の支援
- ③ 熊本県におけるSDGs (持続可能な開発目標) の普及・啓発
- ④ ゼロカーボンに向けた取組の推進
- ⑤ 次世代を担う若者の活躍の場づくり



### 評価項目ごとの取組みの特徴・ポイント

普遍性	講座等ではSDGsに対する考え方や目標設定の方法について伝え、自走した取り組みへと繋いでいる。また、学生スタッフを募集して共に活動し、様々なノウハウを伝えると共に、若者の柔軟で新しい発想を生かした活動を展開している。
包摂性	世界や日本、熊本で起きている課題は解決し、素晴らしいものを守り続けていくためにできることを考える時間を設けることで、熊本の良さを再認識し、シビックプライドを醸成している。教育現場と連携した取り組みを積極的に実施している。
協働性	学校(保・幼・小・中・高・大)、行政、企業などにおいて講演や研修を実施。対面で3万人以上にSDGsを伝え、認知度を向上させ理解と行動を促進した。官民学で連携したイベント等を多数企画し、なかまを募って実行に移している。
統合性	様々なテーマを扱った講座を展開すると共に、SDGsの各分野で活躍している定期的にシンポジウムを連携・協力して実施し、様々な立場の方を繋いできた。
透明性	研究や実践の成果をまとめて論文を作成し、学会等で発表している。実践報告等を実施したり、ホームページやブログにて活動報告を行っている。

### 貢献するSDGsのゴール

